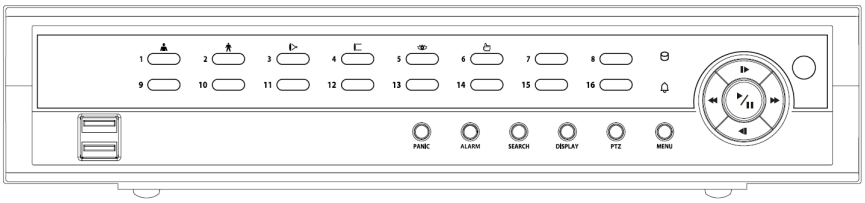
【1】クイックインストレーションガイド

ネットワークレコーダー

SNRE-1600/800/400



このたびは、ネットワークレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、ネットワークレコーダーの設置について解説するクイックインストレーションガイドです。

本書とクイックオペレーションガイドおよび取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

保証書には必ず必要事項を記入してください。

本書は 16ch 機で説明していますが、適宜 8ch や 4ch に読み替えてください。

【製品に関するお問い合わせ先】

セルコ株式会社

E-mail：support@selco.ne.jp

TEL：075-501-0070（代表）　FAX：075-592-4275

セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町 14 番地 3

TEL：075-501-0070（代表）　FAX：075-592-4275

AT-513B-88

★設置の概要

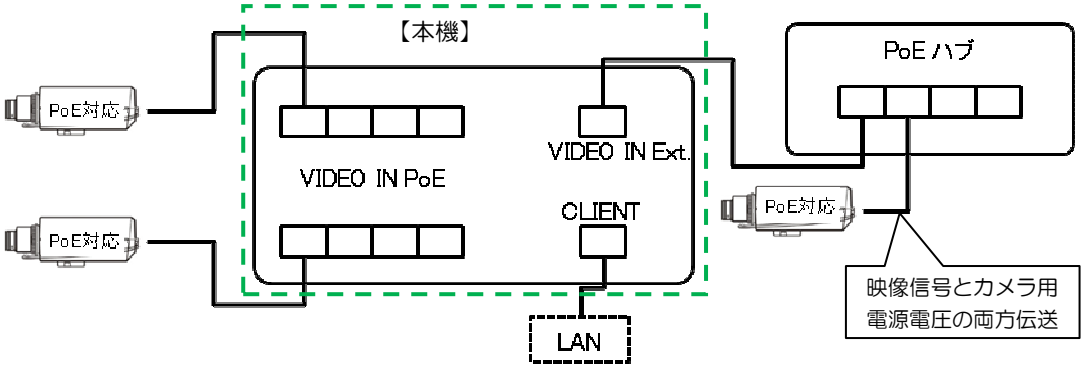
1．ネットワークカメラの電源供給方式

ネットワークカメラとネットワークレコーダーの接続には、電源供給方法により、「PoE 方式」と「電源別送方式」の２方式があります。カメラの仕様に従って正しく設置してください。
ご使用のカメラにより、以下の３種類のタイプがあります。

カメラタイプ
- PoE 方式と電源別送方式の両方に対応したカメラ
- PoE 方式専用カメラ
- 電源別送方式専用カメラ

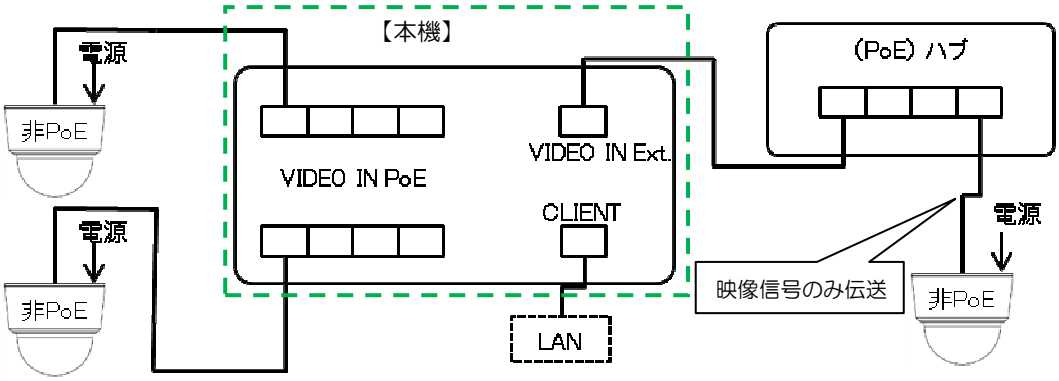
① PoE 方式の概要

カメラ電源を PoE ハブ（スイッチ）から供給します。LAN ケーブル１本のみで対応しますので、カメラと PoE ハブ（スイッチ）の間の LAN ケーブルには、電源と映像信号が重畳されて伝送されます。
カメラの LAN ポートに PoE ハブ（スイッチ）からの LAN ケーブルを接続します。［電源端子］は使用しません。



② 電源別送方式の概要

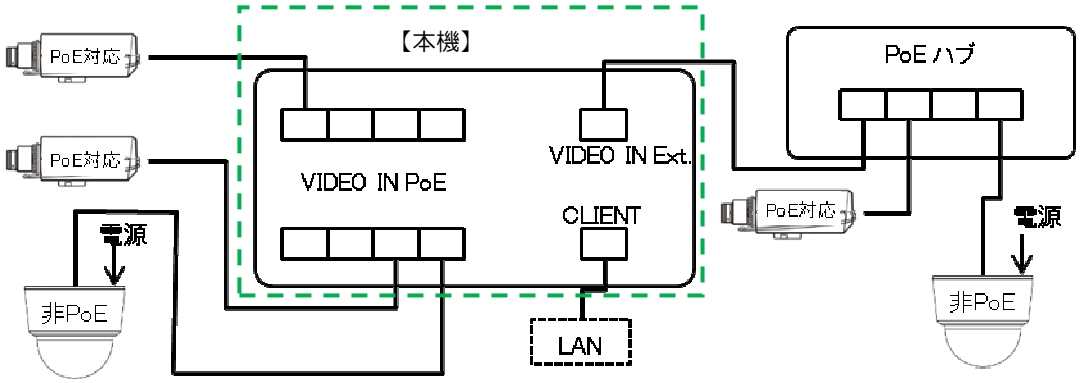
カメラ電源は AC 電源アダプタを使って、供給します。カメラを本機の VIDEO IN ポートに直接接続するか、ハブ（スイッチ）を経由して接続します。この間の LAN ケーブルには、信号のみが伝送されます。（カメラ近傍に AC100V 電源の配線が必要です）
カメラの LAN ポートに LAN ケーブルを接続します。カメラの［電源端子］には、各カメラが規定する電源を接続します。



【使用上の注意】
- １台のカメラで PoE と電源別送とを併用しないでください。故障の原因となります。

2．システム構成例

３台は PoE 方式、２台は電源別送方式で、計５台のカメラを設置する場合のシステム構成例を以下に示します。



【使用上の注意】

・１台のカメラで PoE と電源別送とを併用しないでください。故障の原因となります。

・別の NVR で使用したカメラを本機で使用する場合は、カメラをファクトリリセット（初期設定に戻すこと）してからご使用ください。ファクトリリセットの手順はカメラの取扱説明書をご参照ください。

・本機は、NC-B103-DN、NC-D103-VD、NC-A103-WH には対応しておりません。

・NC-B210-DN、NC-D210-VD、NC-A210-WH、NC-B320-DP、NC-EB310-P、NC-D320-P、NC-ED310-P、 NC-A220-3MW、NC-S220-1ZWH をお使いの場合は、カメラを最新のファームウェアに変更してください。

・カメラの設定は本機が制御します。パソコンで直接カメラの設定を変更すると誤動作の原因となります。

・本機のビデオ入力ネットワークとクライアント・ネットワークは分離していますので、ビデオ入力ネットワークに接続している機器とクライアント・ネットワークに接続している機器との間での通信はできません。

【参考】

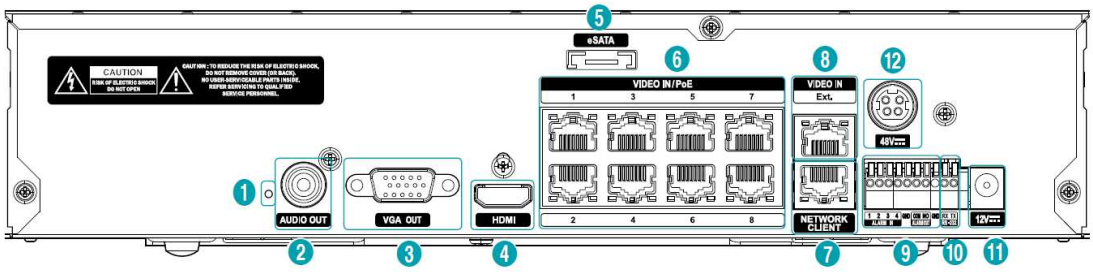
・本機の PoE ポートや PoE ハブ（スイッチ）に PoE 対応のカメラを接続した場合は、自動的にカメラへの PoE 電源供給を行います。
・本構成例では、「非 PoE」カメラは電源別送方式です。カメラ設置場所近傍に AC100V の配線を確保し、AC 電源アダプタで電源供給して下さい。
・本機の PoE ポートや PoE ハブ（スイッチ）に PoE 非対応のカメラを接続した場合は、カメラへの PoE 電源供給は行いません。
・ご希望の監視範囲に応じて、取付け位置、カメラの画角、ピントの調整などを行う際には、「現場調整用液晶モニター」などを使って各カメラの映像出力端子の映像を確認することをお薦めします。カメラ映像端子の映像が問題ないのに、レコーダーに接続するモニターで見るとノイズが多い、画像が乱れるといった現象が発生する場合は、ケーブルに問題がある可能性があります。
・設置する環境に応じて、カメラ取付け用のブラケットなどが必要になります。詳しくは、各製品に添付の取扱説明書をご参照下さい。

★設置方法

1． 各部の名称と説明

1）背面パネル

背面パネルの端子配置と機能概要を以下に示します。



	名称	説明
①	ファクトリーリセットボタン	オーディオ出力端子の左側にあるファクトリーリセットスイッチは、本機を工場出荷時の初期設定に戻す場合に使用します。操作方法は取扱説明書をご参照ください。 【参考】 ファクトリーリセットでは録画映像は消えません。
②	オーディオ出力 （AUDIO OUT）	音声出力（RCA）の接続端子です。 【参考】 本機にはオーディオ出力アンプがないため、アンプとスピーカーを準備してください。
③	VGA 出力 （VGA OUT）	VGA（ミニ D-sub15 ピン）：メイン映像出力端子です。 【参考】 HDMI 出力と VGA 出力は同じ映像が出力されます。 1920×1080 のモニタの使用をお勧めします。
④	HDMI 出力 （HDMI）	HDMI（HDMI コネクタ）：メイン映像出力端子です。 【参考】 HDMI 出力と VGA 出力は同じ映像が出力されます。 1920×1080 のモニタの使用をお勧めします。
⑤	eSATA	eSATA HDD ユニットを接続して録画容量を拡張するために使用します。
⑥	ビデオ入力 PoE （VIDEO IN/ PoE） （1 - 8）	ネットワークカメラを接続します。カメラに PoE 電源供給できます。 **※16ch 機と 8ch 機は８ポートです。4ch 機は４ポートです。**
⑦	ネットワーク （NETWORK CLIENT）	LAN、WAN ネットワークに接続できます。インターネット上のタイムサーバによる時刻同期や、コンピュータの遠隔管理ソフトウエアで遠隔監視、遠隔検索・再生、遠隔制御や遠隔ソフトウェアアップグレードができます。RJ-45 プラグ付の LAN ケーブルを接続します。
⑧	ビデオ入力拡張 （VIDEO IN Ext.）	スイッチ（ハブ）を経由してネットワークカメラを接続します。PoE 機能は付いていません。 **※16ch 機と 8ch 機にこのポートが装備されています。4ch 機にはこのポートはありません。**
⑨	アラーム入力/出力 （Alarm IN） （Alarm OUT）	センサなどの出力をアラーム入力に接続し、ネットワークレコーダーのイベントとして利用します。機械的または電気的スイッチを AI（アラーム入力）と GND（グランド）コネクタに接続します。0.5 秒以上の入力が必要です。 アラーム出力では、イベント発生時に、本機のアラーム出力に接続したブザーなどをオンすることができます。NO （常開）リレー接点出力でAC 125V 2A、DC 30V 1Aです。

<table>
<tr><td>⑩</td><td>RS232</td><td>RS-232 ポートは、外部機器（UPS、電波タイマ）を接続できます。
※電波タイマの接続には RS-422/RS-232 通信変換器が必要です。

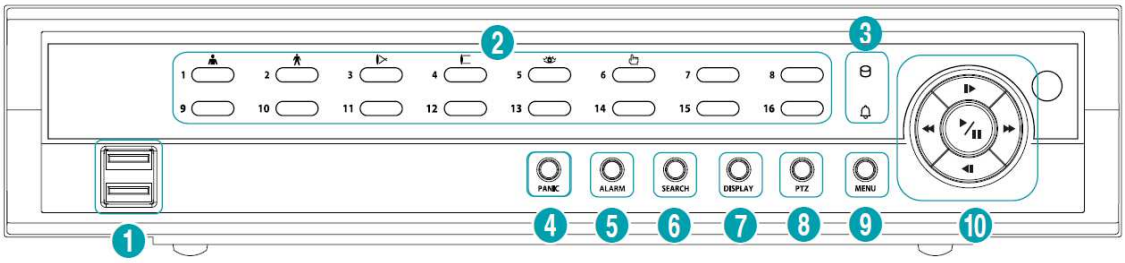
<table><tr><th>外部機器</th><th></th><th>本機（ネットワークレコーダー）</th></tr><tr><td>TXD</td><td>→</td><td>RX</td></tr><tr><td>RXD</td><td>→</td><td>TX</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>DC 12V 電源入力</td><td>付属の AC アダプタと AC 電源コードを本機と電源コンセントに接続します。本機には電源スイッチがないので、接続すると電源が入ります。

【安全上の注意】
正しい電源電圧（交流 100V）で使用してください。また配線器具の定格を超えたり、たこ足配線などを行わないでください。
電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。
電源コードが傷んだ場合は、すぐに使用をやめてください。</td></tr>
<tr><td>⑫</td><td>DC 48V 電源入力</td><td>付属の AC アダプタと AC 電源コードを本機と電源コンセントに接続します。PoE に電源供給します。PoE を使用しない時にも接続してください。

【安全上の注意】
正しい電源電圧（交流 100V）で使用してください。また配線器具の定格を超えたり、たこ足配線などを行わないでください。
電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。
電源コードが傷んだ場合は、すぐに使用をやめてください。</td></tr>
</table>

2）前面パネルボタン

前面パネルのボタン配置と機能概要を以下に示します。

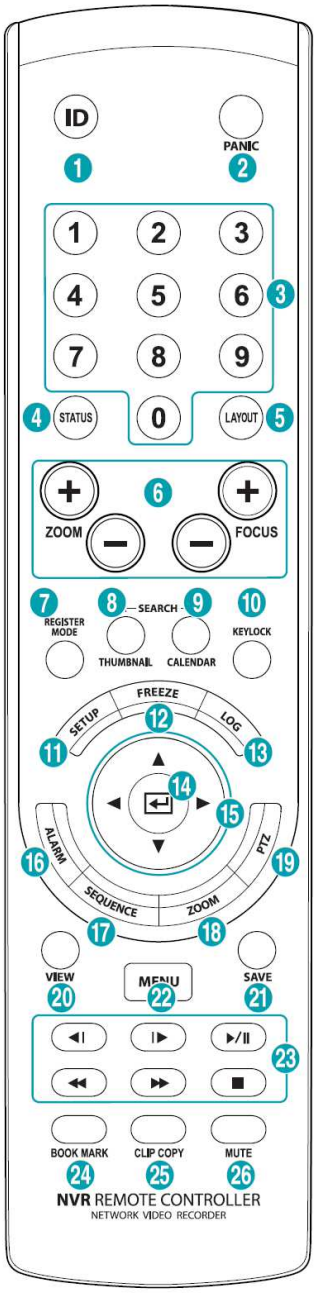


	名称	説明
①	USB	USB マウスでの操作やUSB フラッシュメモリへの映像データの取り出しができます。 上側がUSB 2.0、下側がUSB 3.0 です。
②	カメラボタン 1 - 16	ライブ監視モードや再生（検索）モードでカメラ番号ボタンを押すと、当該カメラの映像をフル画面で表示します。 PTZ モードでは、カメラ番号（1）ボタンは画面拡大ボタン、カメラ番号（2）ボタンは画面の縮小ボタン、カメラ番号（3）ボタンは近距離焦点ボタン、カメラ番号（4）ボタンは遠距離焦点ボタン、カメラ番号（5）ボタンはプリセット表示ボタン、カメラ番号（6）ボタンはプリセット保存として使用されます。
③	ハードディスクLED アラームLED	ハードディスクに映像を保存するか、保存された映像を検索する場合、ハードディスク LED が点滅します。 アラーム出力が動作している間、アラームLED が点灯します。
④	緊急録画ボタン （PANIC）	緊急録画ボタンを押すとアイコンが表示されて、現在のスケジュールに関係なく映像を録画します。 ボタンをもう一度押すと緊急録画が解除されます。
⑤	アラームボタン （ALARM）	アラームボタンは、アラームが作動している時に内部ブザーやアラーム出力を解除したり、ライブ監視モードまたは再生（検索）モードで、アラームが発生していない場合にイベントログを表示します。
⑥	検索モードボタン （SEARCH）	検索モードボタンを押すと、再生（検索）モードに入り、再びボタンを押すと再生（検索）モードから切り換わります。再生（検索）モードに入るとビデオは一時停止され、▶矢印ボタンを押すと普通のスピードで再生します。一時停止モードでは画面上❚❚が、再生中には画面に▶が表示されます。
⑦	分割画面ボタン （DISPLAY）	分割画面ボタンを押すと分割画面が４分割、1+5 分割、1+7 分割、９分割、16 分割、３分割（コリドール）と切り換わります。
⑧	PTZ ボタン （PTZ）	PTZ ボタンを押すとPTZ モードに入り、PTZ カメラを選択するとPアイコンが点滅しPTZ カメラが操作可能になります。PTZ モードのときにこのボタンを押すとPTZ モードが終了します。
⑨	メニューボタン （MENU）	メニューをライブ監視メニューで押すとライブ監視メニューが画面右側に表示されます。再生（検索）モードで押すと調整領域メニューが表示され、ボタンを押すごとに「メニュー」、「スクリーン」、「録画テーブル検索」、「再生」の中で循環しますので手を放した時点で選択されます。 設定画面などではキャンセルボタンとして使用できます。
⑩	方向ボタン 再生一時停止ボタン	設定メニューでは、項目を上下左右に移動する場合に使用します。 再生（検索）モードでメニューボタンにより「再生」を選んだ場合に、◀◀ボタンを押すと高速逆再生します。 ◀◀ボタンを押すたびに再生→高速逆再生（◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀）に切り換わります。 （画面上に ◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀ がそれぞれ表示されます。） 再生（検索）モードで、▶▶ボタンを押すと高速再生します。 ▶▶ボタンを押すたびに再生→高速再生（▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶）に切り換わります。 （画面上に ▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶ がそれぞれ表示されます。） 一時停止状態から ▶ボタンを押すと正方向に 1 コマずつ、◀ボタンを押すと逆方向に 1 コマずつ映像を表示します。
		設定メニューでは、項目を選択するか入力事項を決定（エンター）する場合に使用します。 ライブ監視モードでボタンを押すとカメラ選択状態になり、選択したカメラ CH に白枠が表示され、この時メニューボタンを押すと右クリックメニューが表示されます。 再生（検索）モードでメニューボタンにより「再生」を選んだ場合にボタンを押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。 この装置が稼動している間、電源LED が点灯します。

3）リモコンボタン

リモコンのボタン配置と機能概要を以下に示します。

※リモコンの受光部が本体矢印ボタンの右にあります。この部分が隠れないようにしてください。



	ボタン名	説明
①	ID ボタン	ID ボタンとカメラボタンを操作して、リモコン操作するネットワークレコーダーを決めます。 ネットワークレコーダーのシステム ID が０の場合は ID ボタン操作しなくてもリモコン操作できます。 ネットワークレコーダーのシステム ID を設定してください。、ID ボタンを押して、カメラボタンを押すとネットワークレコーダーの操作が可能になります。複数のシステム ID が０の場合には、リモコン操作すると同時に複数のネットワークレコーダーが操作されます。
②	緊急録画ボタン	緊急録画ボタンを押すと、❗アイコンが表示されて、設定されたスケジュールに関係なく映像を　録画します。ボタンをもう一度押すと緊急録画が解除されます。
③	カメラボタン	ライブ監視モードや再生（検索）モードでカメラ番号ボタンを押すと、当該カメラの映像をフル画面で表示します。 PTZ モードでカメラ番号（1）ボタンは画面拡大ボタン、カメラ番号（2）ボタンは画面の縮小ボタン、カメラ番号（3）ボタンは近距離焦点ボタン、カメラ番号（4）ボタンは遠距離焦点ボタンとして使用されます。
⑤	画面分割ボタン（LAYOUT）	ボタンを押すと分割画面が４分割、1+5 分割、1+7 分割、９分割、16 分割、３分割（コリドール）と切り換わります。
⑥	PTZ 操作ボタン	PTZ ボタン⑲を押し、PTZ モードに入ります。⑮の方向ボタンでカメラの向きを操作し、ZOOM で拡大・縮小します。 ⑳（VIEW）でプリセット表示、㉑（SAVE）でプリセット保存します。
⑦	REGISTER MODE	カメラ登録画面を表示します。
⑪	SETUP	ネットワークレコーダーの設定画面を表示します。
⑭	エンターボタン	エンターボタンは項目を選択したり、入力事項を決定します。
⑮	矢印ボタン	矢印ボタンは、各メニュー設定と画面上で移動するために使用します。 設定メニューでは、 上/下矢印ボタンで設定数値の増減を行います。また、PTZ モードでは上下左右の移動ができます。
㉒	メニューボタン	メニューボタンを押すと、ライブ監視モードではライブ監視メニューが表示されます。再生（検索）モードでは、再生（検索）メニューが表示されます。 設定画面などではキャンセルボタンとして使用できます。
㉓	再生モードボタン	再生ボタンを押すと、再生モードに入り、該当する再生に切り換わります。一時停止モードでは画面上❚❚が、再生中には画面に▶が表示されます。■ボタンでライブ監視モードに戻ります。
㉕	CLIP COPY	録画映像の保存（バックアップ）画面を表示します。

2．配線接続

「2．システム構成例」（3 ページ）の 5 台のカメラ構成の場合の手順を以下に示します。

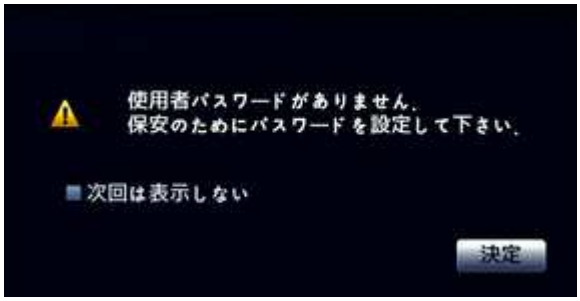
① 必要に応じて、アラーム入力/出力やオーディオ入力/出力などの接続をします。
② PoE 対応カメラは、本機のビデオ入力 PoE（VIDEO IN/PoE）またはビデオ入力拡張ポート（VIDEO IN Ex.t.）に接続した PoE ハブ（スイッチ）に接続します。
③ PoE 非対応カメラは、カメラ設置箇所付近で AC アダプタを使用し、電源投入します。本機のビデオ入力 PoE（VIDEO IN/PoE）またはビデオ入力拡張ポート（VIDEO IN Ex.t.）に接続したハブ（スイッチ）に接続します。
④ 遠隔監視やタイムサーバでの時刻同期をする場合は、ネットワーク（NETWORK CLIENT）ポートに LAN を接続します。LAN の設定情報は現地ネットワークの管理者にご確認ください。
⑤ 本機のビデオ出力（HDMI 端子もしくは VGA 端子）を対応するケーブルを使ってモニターのビデオ入力端子に接続します。
⑥ マウスを使用する場合は USB ポートに接続します。
⑦ モニターの電源を入れます。
⑧ ビデオ入力拡張ポート（VIDEO IN Ex.t.）に接続した PoE ハブ（スイッチ）などの電源を入れます。
⑨ ネットワークレコーダーに付属の 2 種類の AC アダプタと AC 電源コードを接続すると起動します。電源スイッチはありません。

【参考】
・本機は、電源コードを挿すと自動的に起動します。録画中に電源コードを抜かないでください。
・本機を終了するには、MENU ボタンを押して、「システム」―「システム終了」を選択します。
（参照：クイックオペレーションガイド：2 ページ「起動／終了」）

3．設定

① ログイン画面が表示されます。初期状態では、ユーザー名“admin”、パスワードはなしでログインできます。

② 「使用者パスワードがありません」の画面が表示されますので、「決定」を押してください。



【参考】
・他のシステムなどで使用したカメラは必ずファクトリリセットを実施して初期設定に戻してから、カメラ登録してください。ファクトリリセットの手順はカメラの取扱説明書をご参照ください。

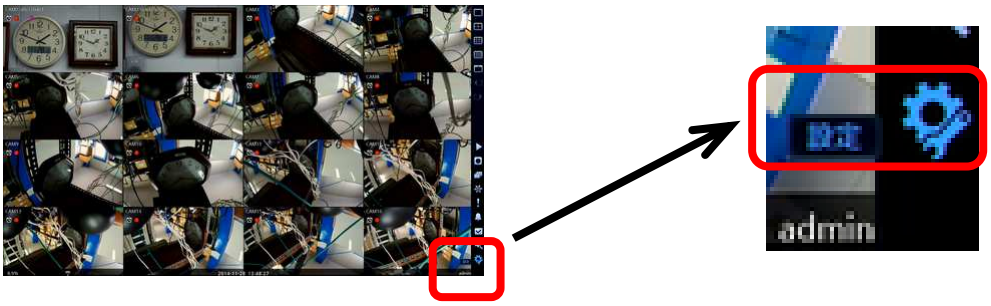
③　「カメラ登録」画面が表示されましたら、画面右下の「スキャン」ボタンによりIPカメラをスキャンします。

④　「カメラ登録」画面で、画面右下の「スキャン」ボタンを押すと「デバイススキャン」画面が表示されます。
ビデオ入力ネットワークに接続したカメラが起動完了していることを確認して、「スキャン」ボタンを押すとビデオ入力ネットワーク内のカメラを探し出します。
カメラスキャンが終わりましたら、接続したいカメラの「番号」にチェックをして、「カメラを追加」ボタンを押しますと、カメラが登録されます。

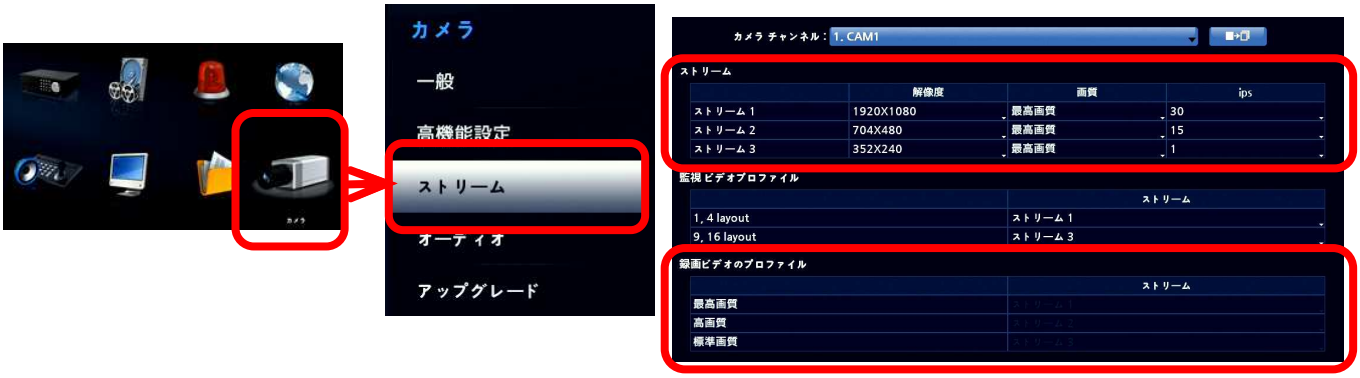
⑤　「カメラ登録」画面に登録されたカメラを確認して「決定」ボタンを押します。
カメラ映像のライブ画面が表示されます。

4. 録画設定の変更

①　解像度、画質、毎秒コマ数などの録画の設定を変更する場合は、ライブ画面で MENU ボタンを押すか、マウスを画面右に寄せて、監視モードメニューで「設定」を選びます。



録画の解像度、画質、毎秒コマ数については、「録画」－「スケジュール」の「設定」および「カメラ」－「ストリーム」で決定されます。



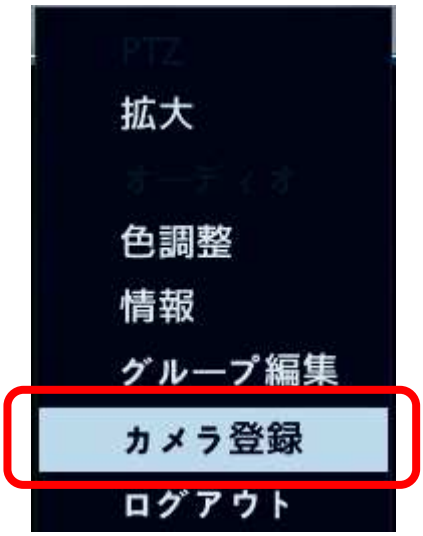
「録画」－「スケジュール」の「設定」で選択されている「ビデオプロファイル」と、「カメラ」－「ストリーム」で設定されている「録画ビデオのプロファイル」および「ストリーム」の組み合わせで、録画の解像度、画質、毎秒コマ数を設定します。

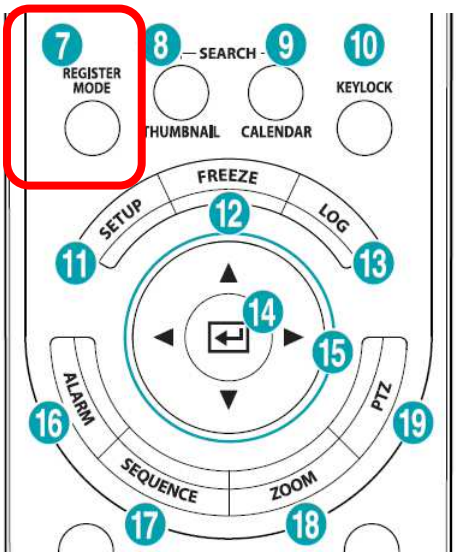
【使用上の注意】
・カメラの設定は本機が制御します。パソコンで直接カメラの設定を変更すると誤動作の原因となります。

・本機で使用したカメラを別の NVR などで使用する場合は、カメラをファクトリリセット（初期設定に戻す）してからご使用ください。ファクトリリセットの手順はカメラの取扱説明書をご参照ください。

・本機のビデオ入力ネットワークとクライアント・ネットワークは分離していますので、ビデオ入力ネットワークに接続している機器とクライアント・ネットワークに接続している機器との間での通信はできません。

② カメラ登録を変更する場合は、監視モードで前面パネルの再生・一時停止ボタンを押してから MENU ボタンを押すまたはマウス右クリックで表示されるメニューの「カメラ登録」を選ぶか、リモコンの REGISTER MODE ボタンを押し、「カメラ登録」画面を開きます。





★クイックオペレーションガイド、取扱説明書

本機の基本的な操作方法は付属のクイックオペレーションガイドをご参照ください。また、本機の各種機能、メニュー構成などは、取扱説明書に記載されております。